愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	榎澤 祐一	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

今後の大学での学修や実社会での活躍の基盤として、情報を縮約して要点を言葉で効果的に伝えること、また、今日、ビジネス上での利用が普及しているビジュアル（画像、動画）でも表現できるようになることが授業の目的です。なお、履修にあたっては、ノートPCを持ち込みPowerPointの操作が可能であることを前提とします。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の多くでは、まず教員から広告の実例を提示した上で、履修者自身が制作する上での企画や制作のノウハウを提示します。その後履修者は、企画と制作の両者を実践します。これらは単独または、グループワークで行います。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	セールスコピーの作成①	言語での広告コミュニケーションとしてセールスコピーの作成の実務的なセオリーを理解し、実際に作成します。講義・ワーク	□
第2回	セールスコピーの作成②	言語での広告コミュニケーションとしてセールスコピーの作成の実務的なセオリーを理解し、実際に作成します。発表	□
第3回	アイディア発想に関する技法を学ぶ①	アイディア発想にまつわる書籍の知見を活かして、アイディア発想を体験します。まずはクラス全員で体験します。全員でワーク	□
第4回	アイディア発想に関する技法を学ぶ②	アイディア発想にまつわる書籍の知見を活かして、アイディア発想を体験します。次に何人かのグループで体験します。３人でワーク	□
第5回	アイディア発想に関する技法を学ぶ③	アイディア発想にまつわる書籍の知見を活かして、アイディア発想を体験します。最後にグループでの体験を基に発表します。グループ発表	□
第6回	チラシの作成①	文章に加えて、ビジュアルを組み合わせた広告コミュニケーションとしてチラシを作成します。講義・ワーク	□
第7回	チラシの作成②	文章に加えて、ビジュアルを組み合わせた広告コミュニケーションとしてチラシを作成します。発表	□
第8回	宣伝動画の企画①	動画での広告コミュニケーションを行うにあたり、動画の企画を作ります。講義・ワーク	□
第9回	宣伝動画の企画②	動画での広告コミュニケーションを行うにあたり、動画の企画を作ります。絵コンテの作成	□
第10回	宣伝動画の企画③	動画での広告コミュニケーションを行うにあたり、動画の企画を作ります。発表	□
第11回	宣伝動画の制作①	動画での広告コミュニケーションを行うにあたり、実際の動画を作ります。動画撮影	□
第12回	宣伝動画の制作②	動画での広告コミュニケーションを行うにあたり、実際の動画を作ります。発表	□
第13回	宣伝動画の制作③	動画での広告コミュニケーションを行うにあたり、実際の動画を作ります。改善点を反映した発表	□
第14回	専門演習履修について	3年次の専門演習での学修にあたっての留意点を確認します。	□
第15回	ゼミ内発表会	自分のゼミの履修者の発表だけでなく、異なるテーマに取り組んだ他のゼミの履修者の発表を見て、3年次の学修につなげていくための内省をします。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

発表資料の作成とプレゼンテーションの練習（2時間程度）、発表後の資料の改善（2時間程度）です。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は発表資料の作成です。フィードバックは他の履修生や教員から発表時に行われます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	【知識・技能】 学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	【思考力・判断力・表現力】 基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	【主体性】 多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

発表資料の作成を授業内でも行う場合があります。グループワークの場合、リーダーシップや協調性、成果物や発表の出来栄えの観点から「個人」別に評価します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特にありません	
2		
3		
4		
5		